

日本画 初心者短期クラス

初めて日本画を学ぶ初心者のためのクラスです。

開催日時

- ・①②③(4～7月) 全6回 13:00～16:00
- ・④⑤⑥(9～11月) 全6回 13:00～16:00
- ・⑦⑧⑨(12～3月) 全6回 13:00～16:00

開催場所 山口蓬春記念館 別館 (神奈川県三浦郡葉山町一色 2320)

募集人数 若干名

参加費用 ①～⑨各 9,600円

講師名 吉田 愛(火曜担当) 押山 治(水曜担当)

申込締切日

参加希望日の1週間前

日程・内容(各回予定)

- ・①②③ (4～7月) 全6回(日程・内容は変更になる場合があります)

①	②	③	内容	用意するもの
4/17(水)	4/23(火)	4/24(水)	第1回 ○オリエンテーション (日本画を始めるにあたって、6回の進め方等の説明) ○モチーフ写生	スケッチブック (F6)、鉛筆(2B・B・HB)、水彩画用具一式、練り消しゴム、雑巾、モチーフ
下記の日程から5つ選択			第2回 ○写生を本紙(ボード)に写す ○墨線骨描きおよび隈取り (輪郭線を写した後に、薄墨で陰影などを入れる。) ○膠と絵の具の溶き方の説明の後、上汁黄土による地塗り	同上
5/8(水)、5/14(火)、5/15(水)、 5/22(水)、5/28(火)、5/29(水)、 6/5(水)、6/12(水) 6/19(水)、6/25(火)、6/26(水) 7/3(水)、7/9(火)、7/10(水)、 7/13(火) ※各クラスの定員の都合により、 ご希望に沿えかねる場合がございますので、あらかじめご承知お きください。			第3回 ○岩絵の具の解説と溶き方の説明の後、バックの彩色 (バックの彩色は、時間の許す限り数回重ねて塗る。)	日本画用具一式
			第4回 ○モチーフの彩色に入る (下塗りから入り、絵の具を上は何色か重ねるイメージを持つ。)	"
			第5回 ○モチーフの彩色続き (ある程度納得できるまで、こだわりを持って塗り重ねる。)	"
			第6回 ○仕上げ (細部の描き込みおよび全体感のバランスを整える。) ○日本画を1点制作してみたの感想等	"

- ・④⑤⑥(9～11月) 全6回(日程・内容は変更になる場合があります)

④	⑤	⑥	内容	用意するもの
9/4(水)	9/10(火)	9/11(水)	第1回 ○オリエンテーション (日本画を始めるにあたって、6回の進め方等の説明)	スケッチブック (F6)、鉛筆(2B・B・HB)、水彩画用具一式

			○モチーフ写生	式、練り消しゴム、 雑巾、モチーフ
下記の日程から5つ選択			第2回 ○写生を本紙(ボード)に写す ○墨線骨描きおよび隈取り (輪郭線を写した後に、薄墨で陰影などを入れる。) ○膠と絵の具の溶き方の説明の後、上汁黄土による地塗り	同上
9/18(水)、9/24(火)、9/25(水) 10/2(水)、10/8(火)、10/9(水) 10/16(水)、10/22(火)、10/23(水) 11/6(水)、11/12(火)、11/13(水) 11/20(水)、11/26(火)、11/27(水)			第3回 ○岩絵の具の解説と溶き方の説明の後、バックの彩色 (バックの彩色は、時間の許す限り数回重ねて塗る。)	日本画用具一式
			第4回 ○モチーフの彩色に入る (下塗りから入り、絵の具を上は何色か重ねるイメージを持つ。)	"
			第5回 ○モチーフの彩色続き (ある程度納得できるまで、こだわりを持って塗り重ねる。)	"
			第6回 ○仕上げ (細部の描き込みおよび全体感のバランスを整える。) ○日本画を1点制作してみてもの感想等	"
※各クラスの定員の都合により、ご希望に沿えかねる場合がございますので、あらかじめご承知おきください。				

・⑦⑧⑨(12~3月) 全6回(日程・内容は変更になる場合があります)

⑦	⑧	⑨	内容	用意するもの
12/4(水)	12/10(火)	12/11(水)	第1回 ○オリエンテーション (日本画を始めるにあたって、6回の進め方等の説明) ○モチーフ写生	スケッチブック (F6)、鉛筆(2B・B・HB)、水彩画用具一式、練り消しゴム、雑巾、モチーフ
下記の日程から5つ選択			第2回 ○写生を本紙(ボード)に写す ○墨線骨描きおよび隈取り (輪郭線を写した後に、薄墨で陰影などを入れる。) ○膠と絵の具の溶き方の説明の後、上汁黄土による地塗り	同上
12/18(水)、12/24(火)、12/25(水) 1/21(火) 2/5(水)、2/11(火)、2/12(水) 2/18(火)、2/19(水)、2/26(水) 3/5(水)、3/11(火)、3/12(水) 3/19(水)、3/25(火)、3/26(水)			第3回 ○岩絵の具の解説と溶き方の説明の後、バックの彩色 (バックの彩色は、時間の許す限り数回重ねて塗る。)	日本画用具一式
			第4回 ○モチーフの彩色に入る (下塗りから入り、絵の具を上は何色か重ねるイメージを持つ。)	"
			第5回 ○モチーフの彩色続き	"
※各クラスの定員の都合により、ご希望に沿えかねる場合がございますので、あらかじめご承知おきください。				

	(ある程度納得できるまで、こだわりを持って塗り重ねる。)	
	第6回 ○仕上げ (細部の描き込みおよび全体感のバランスを整える。) ○日本画を1点制作してみての感想等	”

持ち物・注意事項

スケッチブック(F6)、鉛筆(2B・B・HB)、水彩画用具一式、練り消しゴム、雑巾、モチーフなど。

※日本画用具につきましては、初日に説明します(参加費とは別に、画材を揃えるのに4,000円ほどかかります)。

備考

- ・初心者短期クラスは、年間クラスと合同で実施いたします。
- ・初心者短期クラスを修了し、引き続き継続されたい方は、「日本画 火曜」「日本画 水曜A」「日本画 水曜B」のコースにそのまま途中入会できます(要別途参加費用。各クラスの定員の都合により、ご希望に沿えかねる場合がございますので、あらかじめご承知おきください)。

講師プロフィール

吉田 愛 先生

2005年安宅賞受賞(安宅奨学基金)。2007年東京芸術大学美術学部日本画専攻卒業。2009年東京芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻修了。2007年～現在まで個展、グループ展多数開催。2019年第37回上野の森美術館大賞展・賞候補入選。2020年「GODIVA」「山田平安堂」コラボ限定コレクションの重箱に梅の枝をデザイン。2021年FACE2021損保ジャパン日本興亜美術賞展に入選。日本画の他、イラストや挿絵・本の装画制作もおこなう。現在、東京都立総合芸術高等学校美術科講師。

押山 治 先生

1961年神奈川県生まれ。1987年東京芸術大学日本画科専攻卒業。卒業制作《流》は台東区長賞受賞。1989年東京芸術大学大学院日本画科専攻修了。平山郁夫氏に師事。1990年レスポワール新人選抜展(銀座スルガ台画廊)。1993年院展初入選。1998年個展(銀座・かわべ美術)。1999年日本美術院院友推挙。2000～06年清風会展、2009・11・13・15・17・19・21・23年個展(銀座スルガ台画廊)。現在、日本美術院院友。